



真心より奉仕に努めます。

しろくまだより

*発行 社会福祉法人白熊会
特別養護老人ホーム
白熊園
TEL 092-831-8562
〒814-0104
福岡市城南区別府7-5-45
*発行責任者
施設長 佐藤栄一

<http://hakuyuu.or.jp/>

敬老の日祝典



平成23年度敬老の日祝典を9月17日に行いました。
最長寿102歳の方を初め、百寿、白寿、卒寿、米寿の方々
17名の表彰状授与を行いました。
ご入居者様代表で99歳の方が謝辞をされました。



午後からは祝会を行い、日本舞踊や合唱コーラス、
ウクレレ演奏など楽しいひと時を過ごしました。





8月6日、別府小学校で開催された夏祭りへ
参加しました。ラムネや焼きそばが美味しかったです。



9月17日、RKBラジオが白熊園で生中継!!
芸人のゴリケンさんを司会にダジャレ大会が
開催。皆さん大爆笑でした☆



10月5日、いつもの「しろくまカフェ」の規模を拡大して各階で職員が食事を作り、いつもと違う雰囲気で
昼食とおやつを召し上がっていただきました。ベランダがオープンカフェに早変わり❤

当園も無事、皆様のおかげで10月1日をもって開園6周年を迎えることが出来ました。職員一同、皆様に感謝致します。

今回、開園7年目を迎えるにあたってご家族様より有難いお手紙をいただきましたのでご紹介したいと思います。

今後も引き続き、ご利用者様のサービス向上に努めて参りますので、皆様のご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひ致します。

入園7年目を迎えて

平成17年10月、白熊園開設時より母がお世話になっています。当時87歳だった母もお陰様で93歳になり、ほぼ寝たきりとはいえ元気で穏やかな日々を過ごさせていただいています。

87歳になって間もなく母は歩くことができなくなり、入院生活を送っています。入院はしたものの、生来の我を曲げない性格からリハビリを拒否、回復するどころか足は弱る一方でした。母は姉が面倒を見ていましたが、姉もまた長年難病を患い、その頃私は仕事の都合で広島に住んでおり、ほとんど毎週末帰福という生活を余儀なくされていました。

頑固な母とのやりとりも段々険しい状態になりつつあり、このまま病院を転々と・・・どうするか不安でいっぱいでした。そんな時姉が建設中の白熊園を知り、開設時より入園にこぎつけてくれました。受け入れてくださった白熊園はもちろんですが、姉には深く感謝しております。

入園に際しては、整った環境、スタッフの方々の対応は全く心配しませんでした。むしろ我を曲げない、食べ物の好き嫌いが激しいというより好きなものが殆どない母がどれだけ迷惑をかけるかが心配でした。結果はやはり、そこそこ面倒をかけているようです。

今現在、母は食事をとることができなくなり、胃瘻で栄養を取っている状態ですが、スタッフの方々、家族の事は分かっており健在です。

高齢化が進み世間では介護の問題で不幸な出来事も起こっています。そんな中、白熊園のおかげで母も家族も穏やかな日々をすごせているのは恵まれていると思います。ありがとうございます。

随分前のことですが、一度だけ入園者に対する言葉遣いで気になる部分があり(認知症の高齢者に対して難しい部分ですが・・・)申し入れをさせていただいたことがあります。早速ご配慮いただきました。そんな開かれた、また、入園者のために常に新しい技術を積極的に導入する姿勢、いつも礼儀正しく笑みで接してくださるスタッフの方々、白熊園に感謝です。

これからも、母を見守っていただければ幸いです。

高齢者の方々は、年輪をかさねている分、それだけで尊敬に値するのです。そして大切なのは、これからの方々です。スタッフの方々どうか精神的、肉体的に無理をなさらずお身体を大切になさるようお願いいたします。

平成23年9月末
入居者家族 向井 伸寛

行事報告

- 8月6日(土) 別府校区夏祭りに参加
8月30日(火) アロハハワイアン演奏会
9月17日(土) 敬老の日祝典・祝会
10月1日(土) 開園6周年記念日
10月5日(水) 喫茶バイキング



次期の行事予定

- 11月23日(水) 平成23年度 第2回 家族懇談会
11月2日 (水) 収穫祭（焼き芋など）
12月19日～25日 ゆず湯週間
12月22日(木) クリスマス デザートバイキング
12月27日(火) 餅つき大会

看護師からのお知らせ

木々の葉が色づくにつれ、肌寒さを感じる季節になりました。これから季節、全国的に風邪やインフルエンザ・ノロウイルス等の感染症が発生しやすくなっています。当園では今年も10月末より、回診に合わせインフルエンザ予防接種を実施いたします。必要書類に、ご家族様に記入していただく箇所がございますので、書類が届き次第ご記入、ご返送のほどよろしくお願いします。



白熊園における「たん吸引・胃瘻の対応」のお知らせ

厚労省「特別養護老人ホームにおけるたんの吸引等の取り扱いについて」に基づき、当園において介護職の「たん吸引等」の研修が終了致しました。研修修了を持ちまして、先般の家族懇談会（5月開催）でもお話を致しておりますが、今後介護職も看護職の協力を得ながら、「たん吸引（一部）、及び胃瘻対応（一部）」ができるようになりました。該当されますご利用者様のご家族様には、順次「たん吸引及び胃瘻」に関して詳しいご説明を差し上げた後、同意書をいただくよう予定しております。

なお、今は非該当のご利用者様でたん吸引等が必要でない場合でも、今後たん吸引等のリスクが高いと予想されるご利用者様の緊急性等に配慮し、順次ご家族様にご説明を差し上げた上、同意書をいただきたく存じます。面会等でお見えになった際、こちらよりお声をかけさせていただきますので、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

施設長 佐藤 栄一

